

伊勢・三河湾貧酸素情報 (H28-16号)

平成28年9月28日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

平成28年9月26日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しましたが、その結果は以下のとおりです。

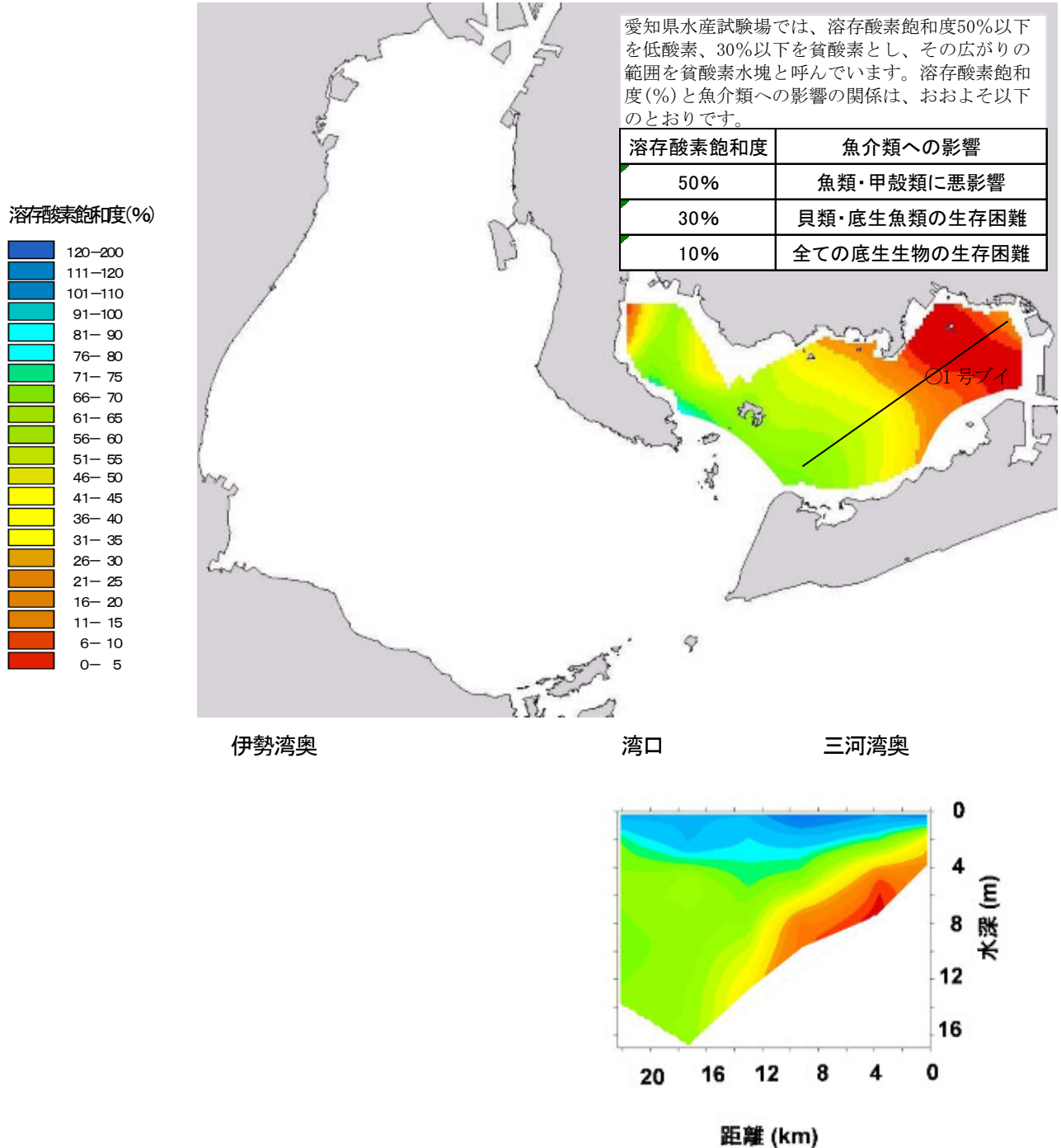


図1 三河湾 (9月26日) 底層の溶存酸素飽和度の分布 (上図) 及び上図直線部分の鉛直分布 (下図) (愛知県「へいわ」調査)

三河湾

9月26日の調査結果を図1、表1に示しました。前回調査(9月13日)に比べて渥美湾では貧酸素水塊の規模が拡大していました(図1)。

自動観測ブイ1号(蒲郡沖)のデータを見ると、台風16号の影響により、海水の上下混合があり、一時的に貧酸素は解消しましたが、その後、徐々に貧酸素化が進行しています。また、表層では赤潮となっており、溶存酸素飽和度が高い状態となっています(図2)。

現在、三河湾の広い範囲で赤潮が発生しており、今後、貧酸素水塊がさらに発達すると思われます。また、表層では降雨の影響もあり中底層との密度差は大きいものの、中層から底層は水温、塩分較差が小さく密度差も小さいため貧酸素水塊が湧昇しやすい状況となっています。このため、強い風が吹く場合は苦潮に注意が必要です。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)		塩分	
表層	23.8	~ 27.0	11.5	~ 30.0
底層	25.0	~ 25.9	29.9	~ 32.5

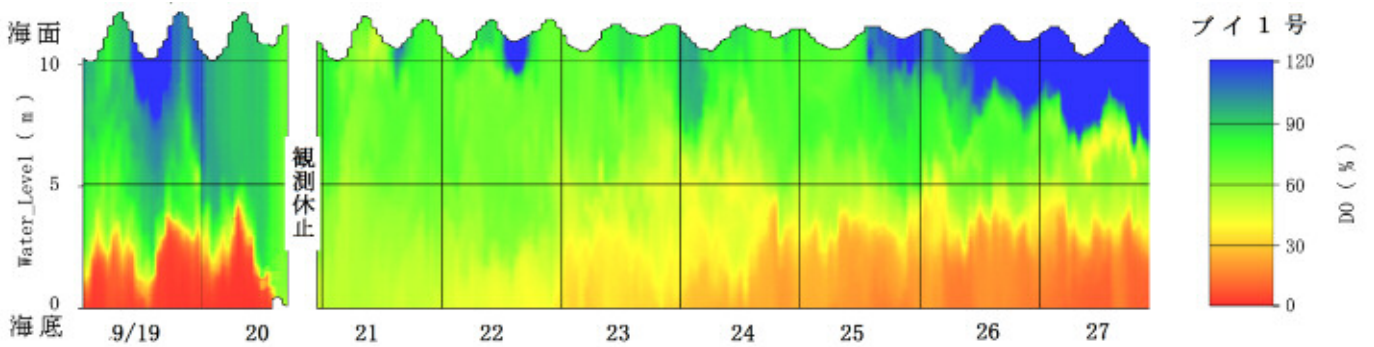


図2 溶存酸素飽和度(DO)の経時変化(自動観測ブイ1号)

参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況

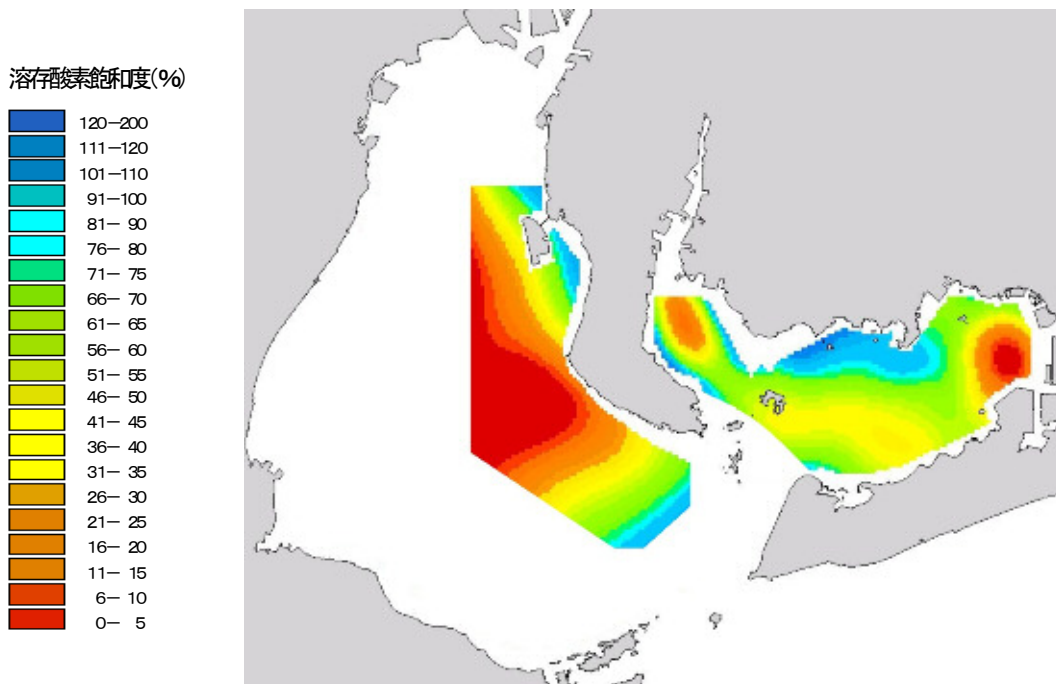


図3 平成28年9月5日(伊勢湾)、9月13日(三河湾)